

別紙

## 福祉サービス第三者評価の結果

### 1 評価機関

名称：しなの福祉教育総研	所在地：長野県上田市真田町長6918番地1
評価実施期間： 平成30年10月1日から平成31年1月9日 *契約日から評価結果の確定日（通常、評価結果報告会日）まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載）  050431, B18051	

### 2 福祉サービス事業者情報（平成30年9月現在）

事業者：佐久市 もちづき保育園 (施設名)	種別：保育所		
代表者氏名： 柳田 清二 (管理者氏名) 若林 弘子	定員（170名）：現員（185名）		
設置主体：佐久市 経営主体：佐久市	開設（指定）年月日：平成29年4月1日		
所在地：〒384-2205 長野県佐久市協和7430-1			
電話番号：0267-54-7430	FAX番号：0267-53-3102		
ホームページアドレス： <a href="http://www.city.saku.nagano.jp">http://www.city.saku.nagano.jp</a>			
職員数	常勤職員： 33名 非常勤職員 0名		
専門職員	保育士 29名		
	調理員 4名		
施設・設備 の概要	(部屋数等)	(設備等)	(保育時間)
	保育室 8室	倉庫	通常保育時間
	乳児室 1室	プール	(平日) 8:00~16:30
	ほふく室 1室	さくらんぼ広場	(土曜) 8:00~16:30
	調理室 1室	てつぼう	(実施している特別保育)
	事務室 1室	登りぼう	一時保育・乳児保育
	遊戯室 1室	スベリ台	障害児保育
一時保育室 1室	大型遊具 等	早朝延長保育	

### 3 理念・基本方針

#### (佐久市保育理念)

子どもの最善の利益を考慮し、健全な心身の発達を図り、生きる力の基礎を培います。

- 養護と教育を一体的に行い、子どもの発達を援助します。
- 保護者の気持ちを受け止め、共に子育てをします。

#### (佐久市保育目標)

1. 自然の中で楽しく遊ぶ子ども
2. 心身共にたくましい子ども
3. 思いやりのある子ども

#### (もちづき保育園の理念)

- 子どもが楽しく遊び、保育者が安心して預けられる保育園

#### (もちづき保育園の方針)

- まわりの自然や環境を生かした体験を多く取り入れていきます。
- 人とのかかわりを大事にします。
- 保護者の思いに寄り添って一緒に子育てをします。

#### (もちづき保育園の保育目標)

1. 自然の中で元気に遊べる子ども
2. あいさつのできる子ども
- 3 人や物を大切にし、思いやりのある子ども
4. 楽しく食べて元気な子ども

## 4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

佐久市は長野県の東端にあり、佐久平のほぼ中心に位置する緑と清流に恵まれた高原都市です。市の中央には、千曲川が貫流しており、その豊富な清流により育った佐久鯉は市の代表的な名産となっています。夏は湿気が少なく冷涼で吹く風は涼しく過ごしやすく、秋には周辺の高原の爽やかな自然の中に、ひととき美しくコスモスが咲き乱れ、多くの観光客が訪れます。また、もちづき保育園がある望月地域は、古くから中山道の宿場町（望月宿）として栄え、春日温泉、春日溪谷等の名所があります。2005（平成17）年4月に旧佐久市、望月町、浅科村、臼田町が合併し、新しい佐久市が誕生し現在に至っています。

佐久市の第一次総合計画後期基本計画の中での保育所関係の施策としては、児童数や保育ニーズの変化、保育所施設の老朽化などを総合的に考慮し、平賀・内山の2保育園と望月地区の4保育園の統合を実施しました。また、2012（平成24）年度に信州やまほいく（信州型自然保育）認定制度の普及型の認定を受け、自然を生かした保育に取り組んでいます。その他、子ども・子育て支援新制度における認定こども園への移行について、各施設に対し、情報の提供を行っています。

第二次総合計画前期基本計画の中での保育関係施策としては、第一点目として、保育所の統合や民間活力の導入を検討するとともに、施設の改築や設備の充実など、保育環境の整備を推進します。第二点目として、乳児保育、延長保育、休日保育、病児・病後保育など、ニーズに応じた保育内容の充実を図るとともに、保育士の確保に努めます。三点目としては、地域の自然を生かした屋外活動を中心に、地域の文化などをとり入れた保育を推進します。等が示されていました。

また、佐久市公立保育園の今後のあり方について（平成30年4月）の中では、佐久市保育園の保育に関する現状と課題が明確化され、今後の公立保育園のあり方について、「佐久市・子ども子育て支援計画」の基本理念「安心して子どもを生み、育てることができるやさしい都市づくり」を実現するため、保育所を子育て支援の基幹施設として、積極的な保育行政を展開しますと明示されていました。

もちづき保育園は、佐久市の保育所整備計画に基づき望月地区にあった、4つの保育園（望月保育園、布施保育園、春日保育園、協和保育園）が2016（平成29）年4月に統合新設された保育園であり、定員170名（現員185名）と佐久市公立保育園の中では最大規模の保育園です。保育園の敷地面積も1,604㎡と広大であり、地元産の木材をふんだんに使用した、暖か味と落ち着きがある建物となっています。保育室は各年齢に応じた十分なスペースが確保され、廊下も広々としており、隠れ家的な空間も整備され、子どもたちが楽しく遊ぶことができる建物となりました。

敷地の入口右の建物は、さくらんぼ集いの広場（子育て支援センター兼集いの広場）が併設されていて、未就園児の集う場とともに、親ごさん達にとっては子育て支援の相談や情報交換を行うなど、望月地域の子育て支援の基幹的な存在として機能していました。まだ2年目の保育園であり建物や施設の充実度は当然高いものがありますが、保護者アンケートの中に、「保育士さんの対応がとても良い」という意見が多くあり、保護者の利用満足度も非常に高い数値（85%）となっていました。

## 5 第三者評価の受審状況

受審回数	初回
------	----

## 6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

### ◇特に良いと思う点

#### ○子どもの主体性を大切にされた保育活動への取組みが行われていました。

保育園の本年度特に力を入れてきたこと（重点目標）として、①各行事、あそび、誕生会、散歩などを通して集団での遊びを多く取り入れる。②絵本や物語を楽しむために、園の本を貸し出したり、素読・お話を会をするなどの場を多く設ける。③散歩を多くし、地域を知り自然に親しむなど、「子どもが好きなことができる。」「子どもの遊びたいという気持ちを保障する」などの自己選択・事故決定のメニューや環境が数多く設定されていました。

#### ○地域交流や地域参加を積極的におこない、地域と共にある保育園づくりを目指す取組が行われていました。

設立2年目の保育園ですが、園の目標の一つとして、「地域に親しまれ、地域と共にある保育園として機能していくこと」を上げていました。具体的な実践としても、地元望月小・中学校との交流、高校生のボランティア活動の受け入れ、地域の駒形クラブの皆さんの野菜づくり、地域ボランティアの方による絵本の読み聞かせ、地域の特別養護老人ホームの利用者の方に昔の遊びを教えていただくなどの交流が行われていました。また、地域の伝統的祭りである「榊祭りの舟引き」に保育園として参加するなど、積極的な地域交流・地域参加の取組みが行われていた。

#### ○保育園の横に子育て支援センター（さくらんぼ）が併設されていて、地域の子育て支援の中核的存在として機能していました。

保育園に「さくらんぼ集いの広場」という、子育て支援センターが併設されており、未就学児及びその保護者への相談機能とともに、親子が集い、交流し、情報交換ができる楽しい空間が用意されていました。保育園の機能とともに、子育て支援機能を併せ持つことにより、望月地域の子育て支援の基幹的な存在として機能していくための取組が進められていました。

○信州型自然保育（信州やまほいく）の認定を受け自然保育に取り組んでいました。

もちづき保育園の保育目標の一つに、「自然の中で元気に遊べる子ども」「自然の変化に感動してかかわって遊べる子ども」があります。もちづき保育園がある望月地区は、佐久市の中でも特に自然環境に恵まれた地域であり、まわりの自然環境を生かした体験保育を数多く取り入れていました。保育園のまわりは自然がいっぱい。春夏秋冬それぞれの季節ならではの自然をとり入れたあそびがおこなわれ、「お散歩大好き」と自然の中で元気に過ごす子どもたちの姿がありました。

○保育士等職員全体の意識が高く、高い水準の保育実践がされていました。

保育に向かう職員の姿勢として、園長をはじめ保育士、その他の職員全体の意識や気持ち（モチベーション）が高く、保護者アンケートでも「子どもたちや保護者に対して、いつも笑顔でやさしく話を聞いてくれ対応してくれます。」という意見が多くありました。また、標準的な保育が組織的に取り組まれているために、保育のばらつきも少なく、保護者の全体的満足度は高い水準となっていました。聞き取り調査の時に園長が「うちの職員は皆明るくチームワークが良く、意欲的に取り組む職員が多いのが売りです。」と話されていて、その効果が保育全体に反映されていました。

◇特に改善する必要があると思う点

○未満児保育の内容についてより向上を図っていただきたい。

0歳児・1歳児については、適切な保育が行われていましたが、2歳児は25人を一つの集団として保育する場面がありました。廊下も使いながら、コーナー遊びなどを工夫し、一人ひとりが楽しめるような環境整備がされていましたが、保育士との信頼関係や愛着・探索活動など、十分にできているかという点について、これからは見直しをされ、個々の子どもたちがより楽しく活動できるための対応を図っていただきたい。

○もちづき保育園の単年度事業計画の作成と事業内容の評価体制の確立をお願いしたい。

佐久市としての保育園における中・長期的な事業展望は明示されていますが、もちづき保育園として各クラス、各部署、主任、委員会、行事内容等の単年度事業計画書の作成を図り、職員会議等で全体に周知し事業を進める体制づくりを行っていただきたい。また、年度途中・年度末等で内容の見直し（評価）を行い、次年度に反映するためのシステム確立を望みます。

7 事業評価の結果（詳細）と講評（別添1.2）  
（共通項目・内容評価項目）

8 利用者調査の結果  
アンケート方式の場合（別添3-1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）